第9回キャンパスベンチャー

審査講評

地域への愛情と意気込み

CVG東北審査委員会委員長
産業技術総合研究所東北センター所長　三石　安

キャンパスベンチャーグランプリ東北は今年で9回目を迎えます。私は今回初めて審査委員長を務めましたが、若い皆さんが事業計画を作成し、それを一生懸命発表する姿に大変心打たれると同時に、勇気を出して実社会での評価を受けようとする姿勢、心意気をみることができ、大変頼もしく感じました。

今年度は、東北地域の8校から24件の応募がありました。残念ながらこの4年間ではもっとも少ない応募数でしたが、これから職業人としてのキャリアを積むにあたって、自ら起業することも選択肢のひとつになりつつあることを考えると、より多くの学生の皆さんにこのグランプリに応募していただきたいと考えています。

24件の応募提案から1次審査で13件を選び、昨年12月12日に提案者へのヒアリングによる本審査を行い、最優秀賞1件、特別賞2件、奨励賞2件、努力賞3件を決定いたしました。受賞された皆様、本当におめでとうございます。心からお祝い申し上げます。

最優秀賞は、ビジネス部門から会津大学の尾上友一郎君が提案した「会津の四季を詰め込んだ会津名物『さくらあげ』」に授与することにいたしました。この提案はたこ焼きに匹敵するファーストフードを会津の特性を踏まえて創作し、地域の活性化と震災復興に貢献したいというものです。会津の皆さんに愛され地域の名物となるものであることを考え、馬肉を使った「さくらあげ」を考案したとのことです。地域への愛情や、地域を活性化したいとの意気込みに満ちていることが高い評価につながりました。

特別賞は、東北大学大学院の八重樫和之君らの「自宅で学ぶものづくり『ものづくり講座オンライン』」と会津大学短期大学部の西間木梅香さんらの「健康外食生活いつはじめるの？今でしょ！―食生活分析・改善アドバイス提供事業―」の2件に授与することといたしました。

前者は、学生の理科離れの問題を科学実験工作により解決しようとするもので、すでに仙台市を中心にものづくり講座を実施し、事業経験と実績を積んできたものをオンラインで全国に広げるとの提案です。ものづくりの基本を自習できる教材の開発や、学習到達度のしっかりした判定など独自のコンテンツをそろえ、理科離れという社会的問題へ正面から取り組む姿勢が高く評価されたものです。キャンパスベンチャーグランプリでは、こうした社会的問題の解決を目指す事業も高く評価していきたいと考えています。また後者は、外食が多く健康な食生活を送ることが困難な一人暮らしの社会人や学生に着目し、食事の分析と食生活改善のアドバイスをする事業を提案するものです。こうしたサービスでは、個々の食事データの入力が面倒ですが、この提案では外食時の支払いレシートを携帯電話のカメラで撮影して送信するだけという点に独自性が認められ評価されたものです。単身世帯が増加傾向にあるなかで良い着眼点だと感心しました。

このほかに奨励賞2件と努力賞3件を選定しました。それぞれに独自の着眼点をもった提案として評価できるものでした。一方で、今回の応募案件には、就職活動に付随する事業提案がいくつも目につき、就職活動に大きな関心を持っていることがうかがわれました。ただ、既存のビジネスモデルと違いが明確でなく、評価しにくいものでした。身近な問題から始め、既存ビジネスとの差異が明確な事業提案ができると素晴らしいと思います。

受賞に至った皆さんには心からお祝い申し上げるとともに、受賞に至らなかった皆さんにおいても、今回の応募の経験が今後の活躍に何らかのお役に立つことを願っています。

投稿・コミュニティサービス「ルーマニア」

奨励賞

東北大学
今井 悠太
芝田 愼太朗
佐々木 祥人
橋本 祥斉
福田 昴生
筆田 雄一郎

今井さん

ネット通販に楽しさを

街角の女性の買い物を想像すると、たくさんの服を試着したり、友達同士でわいわい相談したり。買い物の過程をとても楽しんでいる。一方、ネット通販での買い物はどうだろうか。一覧から商品を選び、注文ボタンを押すという単調なものである。そこには街角の買い物のような楽しさはない。私たちはここに着目し、楽しいネット通販サービス「ルーマニア」を提案した。

提案ビジネスの肝は、ネット通販とコミュニティーサイトの融合である。商品をアイテム化してコミュニティーサイトで扱えるようにすることで、商品を疑似的に体感でき、ユーザー同士でにぎやかに交流することができる。街角の買い物の楽しさに加え、商品購入者の口コミや、見知らぬユーザー同士の買い物など、ネットでしかできない楽しみ方を提供する。

おむすびが伝える食のジャポニズム。

奨励賞

山形県立米沢工業高等学校専攻科
鈴木 里実
伊藤 汐織
石田 樹里
中島 秀人

鈴木さん

新視点で食文化創成

現在、日本では食の欧米化による日本人の米離れなど食育の問題が山積している。さらに食料自給率の衰退、環太平洋連携協定（TPP）参加による外国産の米の輸入による日本米の価値の低下が懸念されている。欧州では「ジャポニズム」の浸透により、日本の食やカルチャーがブームとなっている。

そこで日本米の価値を高めるために、国際的に注目されている和食の現状を踏まえ、欧州の食文化十日本人にとってなじみ深い米料理である「おむすび」を組み合わせた、新しい視点からの食文化の創成が必要であると考えている。

私たちは欧州で採れる食材を乾燥させ、粉末にし、それをおむすびに混ぜわせた「多彩で多様なおむすび」などを欧州と国内で提供する事業を考えた。

やせ荘 ～痩身（そうしん）シェアハウス～

努力賞

東北工業大学
佐々木 博基
佐々木 捷人
忠鉢 孝太

佐々木さん

ストック住宅で切磋琢磨

近年、建物の老朽化などの理由によりストック住宅という物件が増えている。また、私たちは日常生活において、豊かな生活がしたい、健康になりたいなどの欲求を感じている。しかし、これらの欲求を実現しようとしている人は、そこまで多くないのではないだろうか。そこで「ストック住宅に共通の目的や夢を持った人を集め、入居者同士が互いに切磋琢磨（せっさたくま）する」というシステムを考えた。

その一例として、肥満が多いという現代が抱える健康問題に着目し、肥満で悩む人に向けたダイエットをサポートするシェアハウスを考えた。大きな特徴は、トレーニング機器を多数用意しており、それらが使い放題であるということだ。

この事業を行うことで、目標に向かって努力する人の、夢の実現をサポートする。

審査員を前に熱心にプランを説明

減水濃縮したヨーグルトドレッシングの開発

努力賞

八戸工業大学
近藤 士靖

近藤さん

低脂質・低塩分志向に

健康志向が高まる現在、脂質や塩分を少しでも減らしたいと思う人も多いだろう。ドレッシングは脂質が高く、ノンオイルドレッシングは脂質はないが塩分が高くなっている。

そこで、この二つを解決できる低脂質・低塩分のヨーグルトドレッシングの開発に取り組んだ。

減水濃縮とは水切りのことで、ホエイを抜くことで一味違うヨーグルトになる。これを使うことで脂質と塩分が抑えられる。さらに減水濃縮したことにより弾力が生まれ、食べて楽しめるドレッシングとなる。また、不足しがちな乳酸菌を少しずつだが摂取することができ、腸内環境も整えることができる。

食べ方を工夫することで楽しく健康になれるようなヨーグルトドレッシングを目指す。

楽　食 ～もう独りで食べたくない！～

努力賞

宮城大学
佐野 勝大
草苅 ナナ
後反 沙希
沼田 圭史

佐野さん

団欒提供　孤食を改善

現在の日本では女性の社会進出による両親の共働きや、核家族の増加により独りでの食事「孤食」をとる子供たちが増加している。孤食により、食を囲んだ団欒（だんらん）の時間が減少している現状を改善できないかと考え、この事業を提案した。

事業内容は小・中学生を対象にし、自宅で子供たちに食事を提供できる主婦を雇い、その家庭に子供たちが行き、主婦と一緒に食事をすることである。学区内の主婦を雇うことにより子供たちは下校時や部活終わりにそのまま行くことができるため、身近で気軽に利用できる。また栄養バランスの摂れた食事を提供するだけでなく、暖かな食卓と時間、「空間」を提供することである。

子供に食の楽しさを知ってもらうことにより豊かな心を育むことができ、孤食問題の改善につながると考えている。

CVG東北審査委員会　（敬称略）

委員長
三石　安（産業技術総合研究所東北センター所長）

委　員
滝本　浩司（東北経済産業局地域経済部長）
伊藤　努（宮城県産業技術総合センター所長）
高玉　昌一（東北経済連合会常務理事）
八島　和彦（みやぎ工業会専務理事）
大山　隆一（宮城産業人クラブ副会長）
石上　明男（日刊工業新聞社取締役東京支社長）

アドバイザー
佐藤　浩昭（東北経済産業局地域経済部特許室長）

新規会員募集中!!

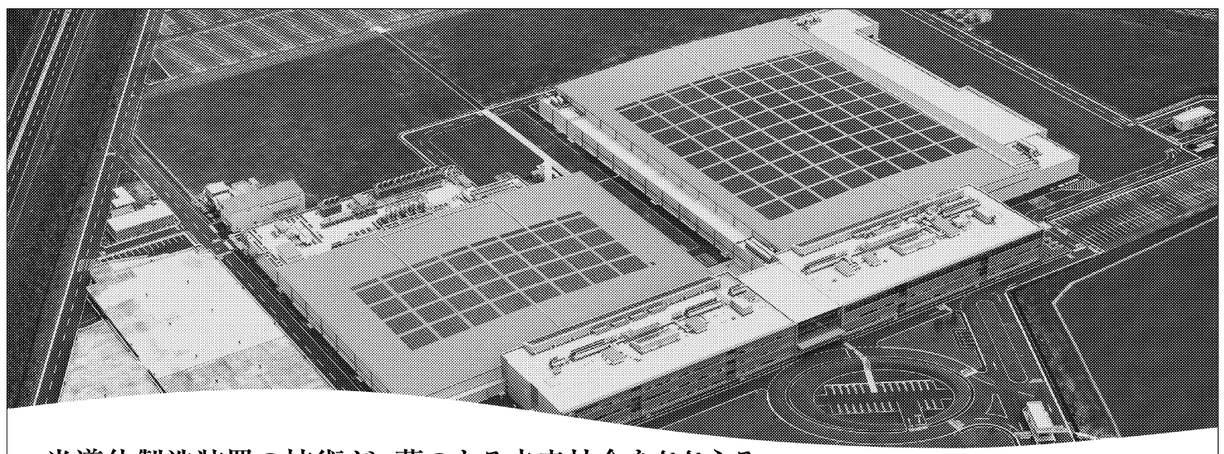
産業人クラブは経営者の意志決定に欠くことのできない情報とチャンスをもたらします！
●地域産業経済発展のために
●異業種交流の場に
●経営・技術情報の収集の場に

いわき産業人クラブ
会長 菅　榮藏
〒960-8068 福島市太田町8-8-203
（日刊工業新聞社 福島支局内）
TEL024(573)6105　FAX024(573)6106

福島産業人クラブ
会長 立石吉識
〒960-8068 福島市太田町8-8-203
（日刊工業新聞社 福島支局内）
TEL024(573)6105　FAX024(573)6106

山形産業人クラブ
会長 松村英一
〒990-0043 山形市本町2-1-2
（日刊工業新聞社 山形支局内）
TEL023(631)8932　FAX023(631)8797

宮城産業人クラブ
会長 工藤治夫
〒980-0011 仙台市青葉区上杉1-17-18
（日刊工業新聞社 仙台総局内）
TEL022(225)8734　FAX022(225)8736



半導体製造装置の技術が、夢のある未来社会をささえる。
東京エレクトロンは、半導体をつくる機械をつくっています。半導体は、ありとあらゆる電子機器に搭載される大切な部品。
その技術革新は、今まで人々が手にしたことのないもの、これまで見たこともない世界を生みだす大きな可能性を秘めています。
想像をはるかに超えた発想で、夢のある未来社会をささえたい。
私たちの挑戦はこれからも続いていきます。
Beyond Imagination.
東京エレクトロン宮城株式会社　50 Years　東京エレクトロンは2013年11月11日に創立50周年を迎えました。
www.tel.co.jp/tml/

グローバルな架け橋となる。
レンタルでプロジェクトの底力になる———。小規模プロジェクトから、横断道路、橋、ダム、トンネル、超高層ビルなどのビッグプロジェクトまで。アクティオは、ものづくりの現場を建設機械レンタルというローコスト思想で支え続けている。プロジェクトをより安全に、より快適に、よりスピーディーに推進する縁の下の力持ちとしてのノウハウの蓄積が、コンサルタント（提案型企業）としての進化を生んだ。レンタル ＋ コンサルティング ＝ レンサルティング®。あらゆるプロジェクトをカスタマイズ＆ベストマッチングさせるプロデュース力は、日本にとどまらず、アジアから世界へ。グローバルな架け橋となる。
建機のレンタル＆コンサルティング
AKTIO
株式会社アクティオ
aktio.co.jp